

平成 24 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	関西学院大学災害復興制度研究所
活動テーマ	西宮市および周辺都市における県外避難者の支援



県外避難者は「被災地とのつながり」「被災者同士のつながり」「避難した地域とのつながり」という3つのつながりが失われ、生活のレベルが相対的に低下していくことが分かっている。したがって、今回の県外避難者に対しても、3つのつながりを保持し、作り出す支援活動が必要になると考えた。

まず被災者同士のつながりをつくり、促進するために、昨年度に引き続き交流イベントを中心とした被災者間の交流をおこなった。その際、西宮市社会福祉協議会や関係NPOなどと協力した。さらに、西宮市役所の担当部局も交え、避難者の生活状況について、意見・情報を交換するとともに、ニーズ調査もおこなった。

交流会には、積極的に大学生などのボランティアにも参加してもらい、「大きなお兄さん・お姉さん」として子どもたちと遊んでもらい、子どもたちのストレスを軽減を目指した。また、イベントには災害復興制度研究所に関わりのある復興支援に詳しい専門家や研究者、法律家などにも参加してもらい、随時、相談に乗ってもらった（第4回）。

避難地域とのつながりに関しては、地域組織と連携しながら、必要に応じて地域の催しの情報提供などをニュースレターを通じておこなった。

発災直後から、活動を継続することで、避難者にも信頼を持ってもらえるようになった。その結果、継続的に交流の場に参加してくださる避難者もいて、いつも楽しんでいるという声も聞こえた。また、このような活動をきっかけに、避難者自身で場づくりの活動する避難者も現れた。

参加した子どもたちも、大学生と遊ぶことを心待ちにしており、彼らが喪失した信頼感を再生する一助になったと思う。

そして、当助成によって知り合うことができた団体（関西アロマセラピスト・フォーラム）との連携をおこなうことで、避難者にとってより幅の広い支援ができた。